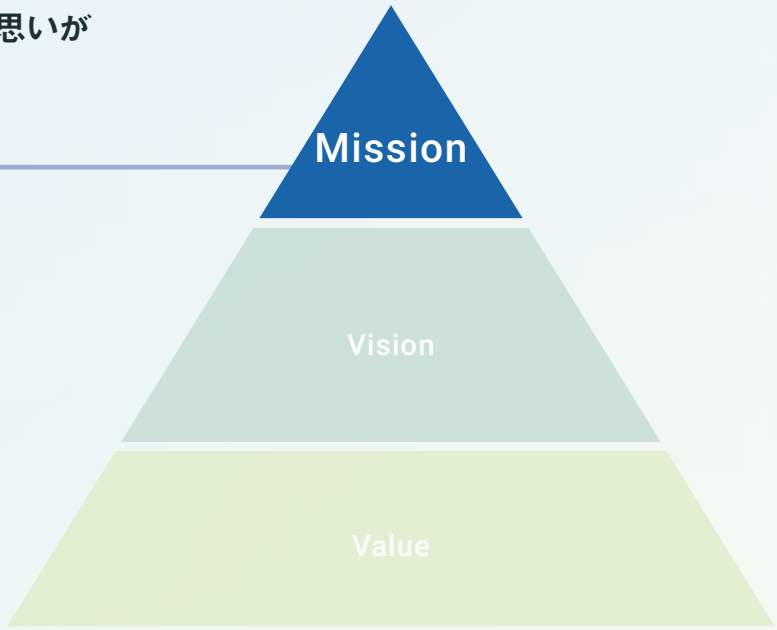
創業時から変わらない日本郵船グループの企業理念と使命

Our Mission

Bringing value to life.

**世界中の人々の豊かな暮らしの実現とともに、
あらゆる生物や環境にも価値をもたらす
存在でありたい、という創業時から変わらない思いが
込められています。**



我ら一艘の船を浮かべれば、
世に一層の便をもたらし、
その利は全人民の頭上に落つる理なり

三菱グループの創業者である岩崎彌太郎の言葉

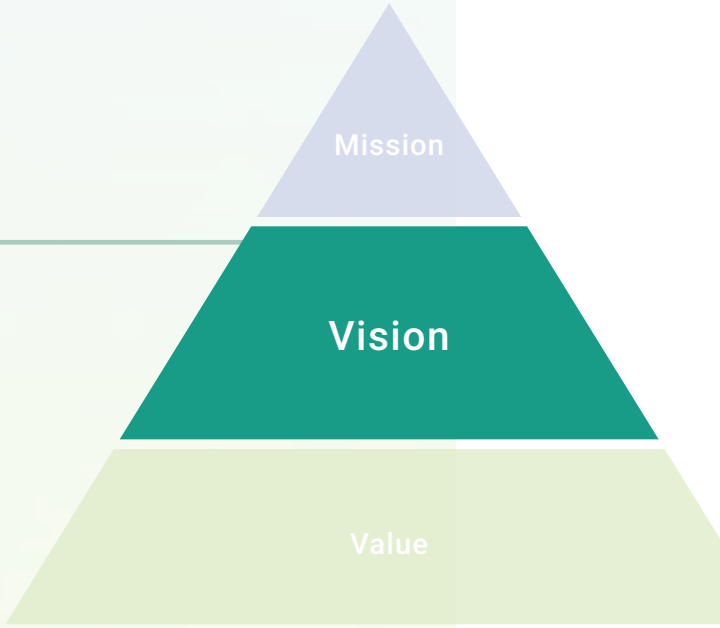
写真提供：三菱史料館

社会に貢献し、持続的成長を続ける企業グループへ

Our Vision

総合物流企業の枠を超え、中核事業の深化と新規事業の成長で、未来に必要な価値を共創します

長期的にありたい姿を見据え
日本郵船グループは新ビジョンを策定しました。



ミッション・ビジョン・バリューの再整理 P.17

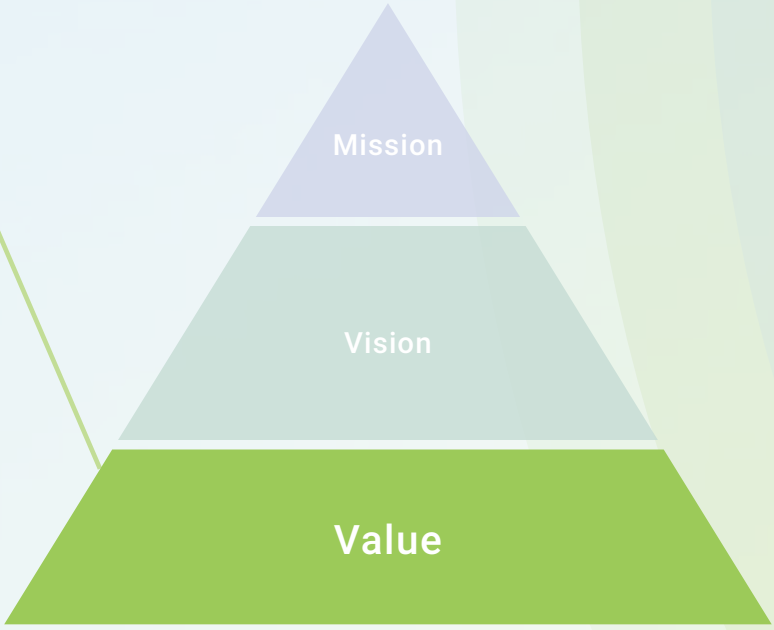
2050年のありたい姿を実現するために、また当社グループの全社員が同じ方向を向いて発展し続ける組織であるために。
私たちが大切にすべき要素を簡潔かつ明確に再整理しました。

企業理念を実現するために社員が共通して持つべき価値観

Our Value

誠意・創意・熱意

これまで「3I's」として全グループ社員が
重視してきた価値観を
Valueとして定義しました。



誠意 Integrity

うそいつわりのない心・私利私欲のない心。まごころ。
お客さまをはじめ、相手を尊重して、
相手の立場を徹底的に考え抜く気持ち。思いやり。

創意 Innovation

これまでだれも考え付かなかった考え。
新しい思い付き。
現状に満足せず、より良いものにするための『原動力』、
つまり『変革』や『挑戦』。

熱意 Intensity

一途にそれに打ち込んでいる気持ち。
熱心な気持ち。
困難なものに対して、継続して達成するまでやり遂げる熱い思い。

NYK
SHIPMANAGEMENT
誠意 創意 熱意
Integrity · Innovation · Intensity

Initiatives and Achievements

前中期経営計画での取り組みと実績

前中期経営計画では、外部環境の影響も受けながら3つの戦略の遂行により、大きな利益を創出しました。
2023年度からの中期経営計画で掲げた、2030年を見据えた経営目標も着実に達成していきます。

Staying Ahead 2022 with Digitalization and Green

戦略の柱

1. ポートフォリオの最適化
2. 運賃安定型事業の積み上げ
3. 効率化と新たな価値創出

利益・財務実績

	目標（2022年度目処）	2021年度	2022年度
経常損益	700～1,000億円	10,031億円	11,097億円
ROE	Min 8.0%	86.0%	48.3%
自己資本比率	Min 30%	55.6%	65.6%
DER	1.5倍以下	0.47倍	0.28倍

Next Target

中期経営計画の骨子と指標

ESGを中核に据えた成長戦略を基本方針とし、環境問題をはじめとする社会課題の解決にも貢献することで、将来の収益力の最大化を図るとともに、企業価値・社会価値の持続的な創出に取り組みます。

Sail Green, Drive Transformations 2026
– A Passion for Planetary Wellbeing –

戦略の柱

1. 中核事業深化と新規事業開拓を両輪とする基軸戦略とそれを支える機能戦略

2. 財務戦略

財務指標

ROIC	6.5%以上
当期純利益（2026年度時点の目安）	2,000～3,000億円
ROE（2026年度時点の目安）	8～10%

非財務指標

海／陸／空 重大事故件数	0件（当社設定基準による事故発生件数）
船舶GHG削減量（2030年度目安）	30%以上（2021年度比）
女性管理職比率（2030年目安）	30%（日本郵船単体の陸上職）